

緊急！ 子供たちのため、日本民族の未来を守りましょう！

外国人犯罪組織を招き入れる政策の徹底阻止！

政府による「移民受け入れ拡大政策」の検討及び、移民大量受け入れへと繋がる

「外国人技能実習制度」の見直しについて抗議の声を上げて下さい！

移民の大量受け入れは、強盗・殺人・レイプ・麻薬密売・誘拐・人身売買などの犯罪を日本で増加させます。

～毎年20万人の移民受け入れ 政府が本格検討開始～

政府が、少子高齢化に伴って激減する労働力人口の穴埋め策として

移民の大量受け入れの本格的な検討に入った。

内閣府は毎年20万人を受け入れることで、合計特殊出生率が人口を維持できる

2・07に回復すれば、今後100年間は人口の大幅減を避けられると試算している。

経済財政諮問会議の専門調査会を中心に議論を進め、年内に報告書をまとめる方針。

ただ、大量受け入れには単純労働者を認めることが不可欠で、反対論も強まりそうだ。

現在、外国人労働者は高度人材などに制限されており、日本国籍を付与する

移民の大量受け入れとなれば国策の大転換となる。

～引用 MSN 産経ニュース～

近年、グローバル社会が加速するにつれて、先進国に移民がなだれ込む時代になっています。しかし、移民を受け入れた欧州各国では、それが深刻な社会問題にまで発展していることをご存知でしょうか？先日の報道では、勤労世代の減少による経済や社会への対策として、移民受け入れを有力な選択肢とし、本格的な移民大量受け入れの検討を開始すると伝えられました。又、その試算では、“2012年に8973万人だった20～74歳の人口が、現状のままであれば2110年に2578万人に減る。しかし、移民を入れた場合は7277万人になる”としています。これは移民大量受け入れによる治安の悪化、日本の文化・伝統の崩壊の懸念はもちろん、将来的に純粋な日本民族が日本国内で少数派になる危険性がある事を意味しています。一度大量の移民を受け入れてしまえば、もう後戻りはできません。現に欧州各国は、「人権侵害」「差別」の名のもと移民を強制送還することができない状況にあります。そして私たち日本人は、移民問題を考えるときに、中国共産党の人口侵略について最も警戒しなければなりません。すでに急増する中国人は在日外国人者数のトップを占め、東大で1000人以上、レベルの高い中高一貫校の上位にも多数の在日中国人が存在するといわれています。日本の緩い帰化条件では、中国共産党に忠誠を誓ったまま官僚や議員になることも容易であり、もし将来、多くの元中国人がそのような地位に就いたら、彼らは日本民族が繁栄していく為の国作りを行ってくれるのでしょうか？やがては参政権を獲得すであろう大量の中国人移民らと歩調を合わせ、日本を中国共産党にとって都合のいい国家に作り変えようとする恐れはないのでしょうか？自らが招いたPM2.5などの深刻な環境汚染によって、北京周辺は人間の居住が不可能になるといわれています。日本の移民大量受け入れは中国共産党にとって朗報に違いありません。もし、中国人が国内で多数派を占めるようなことになれば、日本でもチベットやウイグルのような悲劇は十分に起こり得ます。移民大量受け入れなど議論の余地もありません。このような試算を公表する日本政府は、100年間も日本民族繁栄に向けた有効な少子化対策を行わないつもりなのかと不安になります。子育て支援、若者の正規雇用への道の拡充など、日本の若者が安心して子供を産める社会を作り出す事こそが、今もっとも求められている議論のはずです。

(これらのチラシは一般の市民によって作成されたものです。いかなる宗教・政治団体とは一切関係ありません)